

八王子市市民活動支援センター

平成20年度事業計画

八王子市市民活動支援センター
センター長 春田 博

1. 支援センター事業方針

支援センターは本年6月24日に設立5周年を迎える。

業務委託から指定管理者へと、今日まで培ってきた公設民営の「特性」と「実績」や「信頼」を最大限に活かし、市民、NPO、企業、行政、地縁組織とのネットワークの拠点として、地域社会の諸課題の解決や支援に貢献すると共に、市民活動の総合窓口としての機能を果たす。

本年度活動のキーワードは、

“気づく” “かかわる” “つなぐ” “ささえる” とする。

2. 重点取り組み課題

- 支援センター設立5周年記念事業を実施する。5年間の集大成と新たな飛躍の為の実行委員会を設立し「支援センター祭り」を企画し運営をする。
- 支援センター機能の発揮は人材にあり、相談業務やコーディネート能力の一層の向上を図る。専門知識、情報処理能力、相談技術等の向上や社外研修会への参加を企画する。
- ネットワーク機能基盤強化策として、新たに「企業」（企業市民）や「町会、自治会」地縁組織との連携を図り、市民活動団体と協働しやすい環境づくりに取り組む。
- 市民活動団体の情報収集・蓄積したデータベースの整備と有効活用を図る。
- HP（ホームページ）のリニューアル化の促進を図る。情報収集発信の重要な媒体として、斬新で魅力あるリアルタイムな情報を提供する。
- 東京都生涯学習部からの依頼を受け、都立高校「奉仕の時間」に対する協力支援に本格的に取り組む。

3. 企画運営会議

八王子市民活動協議会とは、支援センターの事業企画立案や意見交流の場として、四半期毎に開催する。

4. セキュリティ委員会

平成19年度監査による指導、指摘事項を踏まえ、支援センター「個人情報保護運用規定」に基づき、セキュリティ委員会の有効活用による組織的対応や日常情報処理管理者に対する個別指導教育（名簿の管理、第三者への情報提供等）の徹底と組織管理体制を強化する。

指定管理者として、信頼のおける「個人情報安全管理体制」のシステムづくりに引き続き努める。

5. 総務、相談対応ならびにデータベース部会活動

- 本年は、前年以上、施設環境の整備、事務効率化に努め、市民へ良質なサービス提供の時間を増やすよう努める。
- スタッフの相談技術や情報処理能力の向上と情報発信拠点機能の強化のため、所内市民活動データベースの拡充、情報提供の工夫と向上を図る。またスタッフの社内外研修会の開催や参加によりコーディネータの能力アップを図る。
- 外部の専門家との協力体制を整備する。
- 「市民満足度調査」を本年度も引き続き実施し、市民サービスの向上を図る。

6. 広報部会活動

支援センターの広報紙「市民活動通信」は、「市民活動」の情報提供の媒体紙として、市民や市民活動団体に役立つ紙面づくりに努めていく。また、できるだけ多

くの市民団体の活動状況やイベント情報などを紙面に取り上げ、市民が積極的に市民活動に関わる情報提供を行っていききたい。

なお、今年度は「市民活動支援センター」の開設5周年に当たるため、5年間の歩みなどを紙面折り込みで掲載する予定。（7月1日発行の第25号を予定）

そのほか、町会自治会との連携を保つようにするとともに、引き続きタウン情報誌等とも連携を密にして紙面掲載情報の提供や情報交換等を行っていききたい。

(1)掲載内容

- 1面 「市民活動団体の活動状況」等
- 2面 「市民企画事業補助金交付事業の紹介」（毎回4団体ずつ）
- 3面 「支援センターからのお知らせ」（イベント情報や相談コーナー Q&A）
「町会・自治会からのお知らせ」
- 4面 「市民団体のイベント情報」や「ボランティア募集のご案内」
「その他」

(2)紙面形態

前年度同様、年6回、毎回奇数月の1日発行 毎回 5,000部 発行
10.5P（A3判 裏表印刷 中折り・A4—4 ページ）茶色1色刷り

発行号数	発行予定日
第24号	平成20年 5月1日
第25号	平成20年 7月1日
第26号	平成20年 9月1日
第27号	平成20年 11月1日
第28号	平成21年 1月1日
第29号	平成21年 3月1日

配布先

- 市の公共施設、駅広報スタンド、協議会会員
- 広報紙掲載団体、他市中間支援センター
- 八王子レクリエーション協会、ミニコミ誌
- センター元気、町会自治会連合会
- 各種イベント、窓口配布用
- その他

7. HP(ホームページ)部会活動

(1) 「市民活動を楽しもう！」コーナーを継続的に充実し、情報発信をより高める。

(2) 助成金情報の提供の仕方を抜本的に革新し、内容を充実するとともに情報発信力を高める。

- 助成金財団等の取材により、助成金提供団体の現状内容・課題等の動向
- 助成金利用団体の声などの発信

(3) 支援センター・ホームページの継続的なコンテンツ掲載及び更新保守を行う。

- タイムリーな情報発信を行うための体制作り、人材育成を図る。

(4) 全体としてホームページ利用者に対するサービス向上に努める。

8. 啓発部会活動

前年度に引き続き「アクティブ市民塾」（カフェ含む）と「市民活動入門講座」の開催を基本とした活動を行なう。

従来どおり、アクティブ市民塾10回、アクティブカフェ2回、入門講座3回実施予定

また、今年度は6月にセンター開設5周年を迎えるので、啓発部としても記念イベントを行なう。

→「5周年記念実行委員会」と連携。

(1)アクティブ市民塾

昨年度は1年間分の講座依頼団体を期首に決定したが、それだと期末に講座を担当する団体は1年間待つことになる。また、団体を期中に臨機応変に変更できないなどの問題があるので、半年間分（4月～9月）の団体のみを決定した。後期（10月～3月）の計画は7月に決定する（団体名及び日時）。出来るだけ受講者同士の交流が図れるようにし、座学であっても参加型の講座になるよう努めたい。

前期のアクティブ市民塾予定

月度	団体名
4月度(4/19)	きよびー
5月度(5/17)	八王子チャイルドライン
6月度(6/21)	グローバルアドベンチャー
7月度(7/19)	百歳長寿・明日をひらく中高年の会
8月度(8/23)	滝山城跡群・自然と歴史を守る会
9月度(9/20)	八王子センター元気

(2)市民活動入門講座

基本的には下記テーマ別の3講座を予定する。

- 広く一般市民を対象とした市民活動基礎講座
- シニア・団塊世代向けコミュニティビジネス講座
- NPO、NPO法人向け活動資金づくり講座

上記のうち、現段階でほぼ決定しているものは、「コミュニティビジネス」で、6月度に実施予定。講師を前田隆正氏（SOHO CITY みたか推進協議会会長）に依頼する。会場はクリエイトホールを予定。他の2講座については未定。時期は、10月・2月を予定。

9. 調査、研究事業

- 都立高校の「奉仕の時間」支援ノウハウの研究と実施
- 企業、市民団体の実態調査（地域ファンド事業との連携）
- 助成金情報の調査と情報提供

以 上